



クビナガリュウ
ホッピー

ホッピーだより

第289号

平成20年12月1日 (2008/12/1)

むかわ町立穂別博物館

054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別80-6 0145-45-3141

<http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/>

むかわの石 (その2)

石器を作った石 (穂別D遺跡の調査から)

昨年、穂別中学校のそばで発掘調査された穂別D遺跡では、大きく3つの時代から遺物(土器や石器)が見つかりました。それぞれ、縄文時代(7,000～3,600年前)、擦文文化期(11世紀)、アイヌ文化期(17世紀)です。

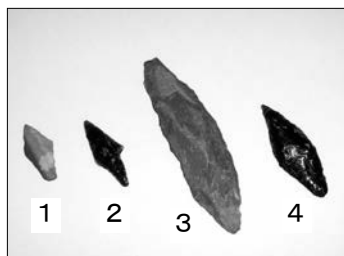
このうち、縄文時代からは、たくさんの土器や石器が見つかりました。

石鏃(せきぞく)：石のやじり。弓矢の先につけます。えものを取る、狩りの道具です。

石槍(いしやり)：石のやり。棒の先につけます。えものを取ったり、武器になります。

石斧(せきふ)：石のおの。棒につけて、木をたおしたりけずったりしました。

スクレイパー：木や肉などをけずったり、引っかいたりするのに使います。



石鏃(せきぞく：1・2)

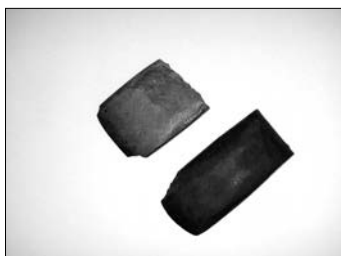
1：緑色の石(穂別産)

2：黒曜石(十勝三股産)

石槍(いしやり：3・4)

3：青色の石(穂別産)

4：黒曜石(置戸所山産)



石斧(せきふ)

左：青色の石(穂別産)

右：緑色の石(穂別産)



スクレイパー

左：固い泥の石(穂別産)

右：黒曜石



黒曜石(上士幌町)

川で見つかるのはこのように丸い石。割れ目はガラスのように光っています。

こうした石器には黒曜石(十勝石)が良く使われます。別名の通り、十勝地方で良く見られる石ですが、ガラスのようにうすくすどく割れるため、刃物などを作るのに向いています。もともとは火山の噴火のできる石なので、とれる場所は決まっています。北海道内での主な産地は十勝地方など4カ所、小さいところを合わせても10カ所ほどしかありません。そのため、各地で見られる黒曜石は、お互いに持ち運ばれたことが分かってきました。

一方、穂別D遺跡の石器には黒曜石もありますが、それ以外の青や緑色の固い石(青色片岩や緑色片岩など)や蛇紋岩も多く使われています。これらの石は穂別ではごく普通に見られ、例えば鶴川と穂別川の合流点のあたり(穂別橋のあたり)では良く見つかります。広く使われていた石だけではなく、身近で手に入る石も積極的に使っていたのですね。(学芸員 桜井)

秋の特別展「穂別D遺跡 = 一万年前の人々の暮らし =」

【博物館の行事紹介】

12月7日(日)まで! 博物館特別展示室にて

穂別D遺跡の発掘で見つかった、縄文時代(7,000～3,600年前)の土器・石器128点、擦文文化期(11世紀)の土器など7点、アイヌ文化期(17世紀)の金属製品など26点、その他町内の土器・石器など、全部で232点を公開中。土器や石器を見ながら、むかしの人々のくらしを思い浮かべてみない?

わたしはどうやって、わたしになったの？

7月号で我らのご先祖さまについて紹介しました。白亜紀のその姿は、なんとネズミにそっくり。現在の私たちまで、どのように時が流れたのでしょうか？

ホ乳類の時代が到来！ 恐竜全盛期にホ乳類は短い間隔で世代交代を繰り返しながら、白亜紀末期の気候の変化に対応し、夜行性や、
 脳の発達、胎盤、母乳育児を獲得しました。そして6550万年前に恐竜が絶滅すると、空白となった生活場所へ爆発的に種類を増やします。森林や湿地帯、海、草原へと姿を変えながら一気に拡大していったのです。

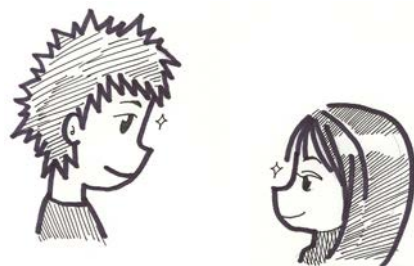


ご先祖さまの変化 そして我らのご先祖さま、獲物を採るため樹上生活を始めます。枝やエサを捕まえたり、木の幹を抱えるため、物を掴む手や指、自由に動く肩が発達しました。そして目。枝渡りの際、正確な距離を把握するため目が中央に寄りました。また、他のホ乳類は色の区別が苦手ですが、霊長類は色に敏感です。緑の葉の中から、色彩豊かな果実を見分ける必要から発達したようです。

立つ そのうちに一部が地上に降りました。長い時の流れで森林が減った事が原因ともいわれています。そしてその中のあるものが四足よりも効率のよい二足歩行を始めます。立つ事で背骨の上

 に頭がのる形となって安定し、血液もちょうど良く冷やされ、高温に弱い脳が、より発達したのです。

私のいのちは地球の歴史 どうです。だいぶ私たちに近づいてきましたね。困難な中での進化の繰り返しにより、やっと私たちがここにいます。その時の状況に合わせた、たまたまの変化の繰り返しで私たちがいるのです。人生80年とはいいますが、いのちは地球とともに46億年、途切れる事なくつながってくれていたのですね。（普及員 打本）



冬休みの工作教室「ミニジオラマ作り」

ホッピーやアンモナイトに色をぬって切りぬいて、むかしの海のようなすをつくろう！

ホッピーなどの絵に色をぬって切りぬいて組み立てて、
 むかしの海のようなすを作ります。

12月27日（土） 1回め 9:00-11:00 婦人研修センター（鶴川）

2回め 13:30-15:30 穂別博物館（穂別）

小学生以上（低学年は、保護者同伴）・毎回15人

参加費：無料 持ち物などの問合せは、博物館まで



むかわの化石や生き物



オウムガイ（復元模型）

巻いたカラにたくさんの足がありアンモナイトと良く似ていますが、かなり遠い親戚です。どちらも同じ時代に生きていて、穂別でもそれぞれの化石が見つかっています。アンモナイトは絶滅しましたが、オウムガイは今も生きています。

2008年12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■：休館日

2009年1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10						

12月・1月のこよみ

- ・12/24は祝日の振替休館日です
- ・12/31～1/5は、年末年始の休館日です

この地球上に生命が誕生したのは約40億年前と考えられています。その後、あるものが栄えてはやがて姿を消し、そして他のものが栄えてまた姿を消し、そうした繰り返しがあって今の生き物たちがいます。我々も生命の歴史の一部です。（さ）